

原 著

腹腔鏡補助下幽門側胃切除・D2リンパ節郭清術の安全性と忍容性 —Clavien-Dindo 分類を用いた合併症評価

青 山 徹, 吉 川 貴 己, 長 晴 彦,
林 勉, 尾 形 高 士, 円 谷 彰

神奈川県立がんセンター 胃食道外科

要 旨: 背景: 腹腔鏡補助下幽門側胃切除 (LADG)+D2 リンパ節郭清 (D2 郭清) の安全性は十分に検討されていない。今回, LADG+D2 郭清症例を Clavien-Dindo 分類を用いて術後合併症と手術死亡率を検討し安全性及び忍容性についての検討を行った。対象及び方法: cStage IB 胃癌を対象に, 2004年8月-2009年7月に施行された LADG+D2 郭清症例17例を対象とした。結果: 手術合併症は2例 (11.8%) に認められた。詳細は, Grade I の AST/ALT 上昇が2例であった。手術死亡はなかった。結論: LADG+D2 症例の術後合併症は11.8%, 手術関連死亡は0%で, これまでの開腹下の手術の報告とほぼ同等の成績であった。

Key words: 腹腔鏡補助下幽門側胃切除, D2リンパ節郭清, Clavien-Dindo 分類